

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【特別の教科 道徳】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 構成・配列については、例えば、低学年では「親切、思いやり」中学年では「規則の尊重」高学年では「国際理解、国際親善」などに関する教材を複数配置し、内容項目の関連を図りながら発達の段階に応じて系統的に指導できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、例えば、3年生以上には「問題を見つけて考える」や「考えるステップ」を掲載するなど、教材の冒頭で視点を示し問題を焦点化させたり、話合いの手引きとして活用させたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。対話やゲーム的要素を取り入れた「活動型教材」を設定するなど、様々な活動を行う中で積極的に議論することを促したり、児童の多様な考えを引き出させるようにしたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材のタイトルに4つの視点を表すイメージのマークや色分けをし、学習内容を捉えやすくしたテーマを設けることで見通しをもって学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生活の中での実践につなげるために、巻末の「つながる・広がる」での写真や資料を活用させることで、他教科の調べ学習やその後の生活にも生かすことができるような工夫が見られる。</p> <p>(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、指導内容と指導時期を考慮して児童の生活実態や体験活動に合わせた教材を配列することで、効果的な学習ができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年P2・3</p> <p>5年P25 5年P29</p> <p>5年P134</p> <p>5年P2～3 5年P10</p> <p>5年P171</p> <p>5年P160 6年P76</p>
11 学校図書	<p>(1) 構成・配列については、「きづき」と「まなび」の二冊で構成され、いじめの問題に向き合う教材の主軸となる「公正、公平、社会正義」を全学年に配置するとともに、低中学年に「個性の伸長」と「自然愛護」に関する教材を複数配置し、児童の道徳性が養われるような工夫が見られる。</p>	目次

	<p>(2) 内容や指導の充実については、読み物教材の「きづき」に、読み物とコラムのみを掲載するなど、児童自ら問題に気付かせたり、児童の実態や経験に合わせて弾力的に学習過程を構想したりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、学習教材の「まなび」には、まとまりごとのコラムや自分や友達の考えの記述欄を設けるなど、自分の考えをもち、互いの意見を交流する場面で活用することで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>	5年まなびP17
	<p>(3) 利便性の工夫については、別冊「まなび」で児童や友達の考えを記入する欄を設けている。また、複数時間の学習をつなぐことで、過去の自分との対話を通して、主体的・対話的な学びができるような工夫が見られる。</p>	5年まなびP19
	<p>(4) 生活の中での実践につなげるために、「自分の考え」と「友達の考え」の書き込み欄を配置したり、授業だけで終わることなくこれからにつなげる振り返り欄を設けたりすることで、他者との対話を通して学びを深める工夫が見られる。</p>	5年P14 5年まなびP15
	<p>(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、年間を通して、いじめをなくすことや周りの人との関わり方に関連する教材を計画的に配列することで、児童に繰り返し、様々な側面から学びを深めさせる工夫が見られる。</p>	5年きづきP1
17 教育出版	<p>(1) 構成・配列については、中高学年に「国や郷土を愛する態度」に関する教材を4つ設け、他教科や特別活動との関連を考慮した教材配列となっていて、それぞれの連携が図りやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、キャラクターの吹き出しによる授業の導入や「やってみよう」を設定するなど、児童自身に問題に気付かせ、自分なりの問いをもたせたり、実際の行動と結び付けながら価値を学ばせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、教材の後に様々な切り口から問う発問やキャラクターの発言を掲載するなど、児童の考えを</p>	4年目次 5年P14

	<p>深めさせたり、多様な考えを引き出すきっかけづくりに活用させたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「道徳ではこんな学習をするよ」を設け、「考えよう」「深めよう」「やってみよう」「つなげよう」において、様々な視点から考えを深めたり広げたりしながら、主体的に学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生活の中での実践につなげるために、モラルスキルトレーニングや先人・偉人に関する教材を取り入れたり、第1学年の教科書巻末には礼儀やマナーの資料を掲載したりすることで、自己の生き方について考えを深められる工夫が見られる。</p> <p>(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、年間35時間のうち30時間の教材に全ての内容項目を配置し、残り5時間（1年生は4時間）分には補充教材を設けることで、各学校の実態に応じた重点化に対応できる工夫が見られる。</p>	<p>5年P4～5 5年P9</p> <p>5年P79 5年P150</p> <p>5年目次 5年P140</p>
<p>38 光村図書出版</p>	<p>(1) 構成・配列については、例えば、いじめ問題や環境、国際理解、情報教育、福祉・共生などに関する教材を連続して複数配置し、社会情勢や日常生活との関連を図ることで、児童が実感的に学べるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、問題解決的な学習や考えを深める体験的な学習を意識した教材を用いるなど、身近な設定で判断に迷う場面を取り上げたり、役割演技を全学年に位置付けたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。複数の状況を取り入れた教材や考えを様々な切り口から問う発問を掲載するなど、児童に多様な価値観で話し合わせたり、価値観の認め合いや磨き合いを促す学習を展開したりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、キャラクターによって教材冒頭部分で学びに見通しをもたせる問いかけをし、終末部分で発展的な学習へつなぐ呼びかけをすることで、児童の円滑な思考や日常生活の振り返りに結びつくような工夫が見られる。</p>	<p>5年P2・3</p> <p>5年P37 5年P43 5年P42 5年P44 5年P135</p> <p>5年P10 5年P12</p>

	<p>(4) 生活の中での実践につなげるために、教材末の学習の手引き「つなげよう」を設けることで、道徳の時間だけで学びが終わらないよう他教科や日常生活につなぐことができるような工夫が見られる。</p> <p>(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、題材と日常生活にある課題を扱ったコラムを組み合わせた「ユニット」を設け、連続して同じ内容項目に触れ合えるようにすることで、児童が自己の生き方を考えられるような工夫が見られる。</p>	<p>5 年 P 1 7</p> <p>5 年目次</p>
	<p>(1) 構成・配列については、例えば、年度前半に、集団生活の充実やよりよい人間関係の形成、後半には、学習の深化、発展を意識した教材を配置し、伝統的行事や学校行事、児童の生活体験と関連を図った指導ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、学び方の基本を理解させるための「学習の手引き」や教材への関心をもたせるための発問を掲載するなど、教材への見通しをもたせたり、問題意識を高めさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、心の成長を記録する別冊「道徳ノート」や教材と関連した内容を取り上げた「心のベンチ」を設定するなど、自分の考えを広げさせたり、多様な価値観に触れさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材の文頭に主な登場人物の紹介や教材につなぐ一文を設けることで、内容をイメージしながら学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生活の中での実践につなげるために、教材のまとまりごとに「心のベンチ」を配置することで、他の教育活動とも関連付けてねらいとする道徳的価値を多面的・多角的に考えられるような工夫が見られる。</p> <p>(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、宮崎県の地域教材として第 6 学年に「創志君と子牛」を配置することで、児童が教材</p>	<p>5 年目次</p> <p>5 年 P 3 0</p> <p>5 年 P 3 1</p> <p>5 年 P 3 5</p> <p>5 年別冊</p> <p>5 年 P 2 1</p> <p>5 年 P 1 4 7</p> <p>5 年 P 4</p> <p>5 年 P 2 1</p> <p>6 年 P 1 7 4</p>

116 日本文教出版

	を身近に感じ、興味をもって学習に取り組むことができるような工夫が見られる。	
208 光文書院	(1) 構成・配列については、全学年を通して生命の尊重を配置するとともに、低学年では自分自身、中学年では人や集団との関わり、高学年では相互理解やよりよい生き方に関連する教材について、重点化を図りながら複数時間配置し、発達の段階に応じて指導できるような工夫が見られる。	5 年目次
	(2) 内容や指導の充実については、冒頭の問いの設定や教材下段に児童の思考に寄り添う投げかけを配置して、自分のこととして考えさせたり、「どうして」「なぜ」と問い続けさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、教材下段の投げかけや「まとめる」「広げる」学習の設定により、考えを深め、広げさせながら道徳的価値のよさや意義、多様さを理解させたり、日常生活で生かすことや調べ学習を促したりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。	5 年 P 3 0 5 年 P 4 2
	(3) 利便性の工夫については、役割ごとにキャラクターを設定し、児童の思考に寄り添いながら問いかけることで、多様な感じ方や考え方を実感できるようにし、自分の考えを深めたり広げたりすることができるような工夫が見られる。	5 年 P 9 5 5 年 P 1 5 9
	(4) 生活の中での実践につなげるために、挨拶や言葉遣いなどのよさや難しさを体験する活動を示したり、各教材末に広げる活動を提示したりすることで、道徳での学びを家庭・地域での活動に実際につないでいくための工夫が見られる。	5 年 P 2 8 5 年 P 2 9
	(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、年間 3 5 時間分に加え、入れ替え可能な教材を 5 ～ 6 時間分多く掲載したり、付属のデジタル教材に第 6 学年「延岡―城山の鐘」を配置したりすることで、各学校の重点化に対応できる工夫が見られる。	5 年 P 4 4 5 年 P 2 9 5 年 P 1 8 4 6 年 付 属 デ ジ タ ル 教 材
224 学研教育みらい	(1) 構成・配列については、例えば、5 学年では、「生命の尊さ」についての教材を扱う際に、「友情、信頼」などの内容項目に関連する教材を連続的に複数配置することで、関連性を重視しながら、学習効果を高められるような工夫が見られる。	5 年 P 2

	<p>(2) 内容や指導の充実については、家庭と連携して行う学習活動や教材と関連させた体験的な活動を設定するなど、教材を学習した後に学びをつなげさせたり、広げさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、重点テーマの「いのち」と「生き方」を複数時間扱った後に考えたことを書かせるなど、児童が実感の伴った考えを交流したり、対話をもとに自己との関わりを問い直させたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材に「わたしのこと」「あなたとわたし」「社会とわたし」「命や自然とわたし」の4つの視点を色分けした見出しを設けることで、学びの全体像をつかんで学習することができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生活の中での実践につなげるために、特設ページで「考えを深める」「体験的な学習活動で考える」「自分のよりよい生き方につなげる」「視野を広げる」の4種類の学び方を提示することで、ねらいとする道徳的価値を多面的・多角的に考えさせる工夫が見られる。</p> <p>(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を取り入れたり、宮崎県のお雑煮の資料を掲載したりすることで、家庭生活や地域生活への理解を深めることができる工夫が見られる。</p>	<p>5年P 6 9</p> <p>5年P 6 1</p> <p>5年P 8 4</p> <p>5年P 7 3</p> <p>5年P 2 7</p> <p>5年P 8 5</p> <p>5年目次</p> <p>5年P 2 3</p> <p>5年P 6 9</p> <p>5年P 1 3</p> <p>5年P 9 9</p> <p>5年P 1 4</p> <p>5年P 1 4 8</p> <p>1年P 1 0 3</p>
232 廣済堂あかつき	<p>(1) 構成・配列については、全学年共通の重点項目を設け、「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」の内容項目に関する教材を一部は2時間連続で配置し、指導の重点化を図ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、別冊ノートに内容項目の解説や自分を見つめさせる問いかけ及び学習の記録を掲載するなど、価値理解を深めさせたり、自分のこととして考えさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、教材後の「学習の道すじ」の掲載や別冊の話合い活動の記録欄の設定など、多様な考えに触れさせることができ</p>	<p>5年P 1 5 6</p> <p>5年別冊P 1 5</p> <p>5年別冊P 2 6</p> <p>5年P 9</p> <p>5年別冊P 4 4</p>

	<p>る問いかけをしたり、他者と交流する機会をもたせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材ごとに学びの手がかりとなる「考えよう話し合おう」を設けることで、学習の見通しをもって主体的に考えたり、積極的に話し合いを行ったりすることができるような深い学びを促す工夫が見られる。</p> <p>(4) 生活の中での実践につなげるために、役割演技や動作化などの体験的な学習を促す教材を掲載したり、教材末に学習を広げるための内容として「活動しよう」を配したりすることで、道徳での学びを生活とつなぐための工夫が見られる。</p> <p>(5) 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、第4学年の別冊に宮崎県の「真名井の滝」を取り扱った教材を配置したり、児童の実態や授業の展開に応じて別冊ノートの内容を活用したりすることで、児童の実態に柔軟に対応できる工夫が見られる。</p>	<p>5 年 P 9</p> <p>5 年 P 6 5</p> <p>4 年別冊 P 2 3</p>
--	---	--